



進学・公務員
体験談紹介

その2

専門学校

人前に立つ経験が
得られる

大阪アミューズメントメディア専門学校
声優学科
総合学科 芳田 千奨

他人とは違う何かをしてみたいという思いから役者を目指すようになり、この専門学校を志望しました。

私は中学3年生から劇団活動を始め、セリフ、発声、滑舌練習や舞台での立ち回りを学びました。そして豊総では2年次に設置されている「演劇表現」の授業を選択しました。この授業は、チームでアイデアを出し合い、それを形にする授業で、自分の考えを表に出す力「コミュニケーション力、さらに創造力が鍛えられたと思います。また他にもプレゼンを行う授業が多くあったので、人前で表現することに慣れていきました。

専門学校の試験科目には、国語・数学・時事問題、面接に加え、滑舌や表現の実技試験がありました。劇団や授業での経験を生かすとともに、早口言葉の練習やドラマや映画を見て対策しました。

豊総は、社会に出る前に人前に立つて何かをする経験が得られ、自分で考えて行動する力が身に付く学校です。これは、どのような進路を目指していても、大事な力であると思います。

地域医療に
貢献したい

公立八鹿病院看護専門学校
〈指定校推薦〉 総合学科 浅田 唯花

将来看護師として地域医療に貢献したいと考えていて、実際に生まれ育った地域で実習を経験できることから志望しました。

〈指定校推薦〉で受験し、試験内容は面接と一般常識でした。一般常識対策として問題集を解きニュースをみて情報収集をしました。面接は、10回以上多くの先生に練習していただきました。

豊総では生徒会執行部に入り、行事の計画や運営にあたりました。また活動の中で、障がい者の方のクリスマスマス会にボランティアとして参加しました。生徒会を経験したこと、何事にも積極的に取り組み、周りを見て行動する姿勢が身に付いたと思います。

後輩のみなさんには、早いうちから進路や将来の夢についてじっくり考えることが大切だと伝えたいです。私は「産業社会と人間」の授業の中で、自分を見つめ直す機会があり、将来について考え、自分が何をしたいかを明確にすることができました。



「演劇表現」の授業



子どもたちの成長を
支える職に

兵庫県 教育事務職
総合学科 木多見 康介

これまで当たり前のように学校に通い、友達と遊んだり勉強をしてこれたのは、さまざまな人の助けがあったからであり、自分も子どもたちの成長を支える職に就きたいという思いがありました。その中で教育分野に携わることのできる公務員について知り、幅広い教育現場で働くことのできる点に魅力を感じ志望しました。

高校では部活動と勉強の両立に力を入れ、陸上競技部では長距離走の厳しい練習にも粘り強く取り組み、忍耐力を身に付けました。また、キャプテンを務め、チームを率いる役割を果たしました。勉強では日々の授業を大切に、見やすいノート作りを心掛けていました。テスト勉強は計画的に行い、上位の成績を維持できました。

受験にあたっては、このような日頃の姿勢と、さまざまな状況を想定して準備をしていたので、一次試験、二次試験ともに自分の実力を十分に発揮することができました。

豊総にはさまざまな進路を目指す仲間が集まっています。仲間と刺激し合いながら、幅広い選択科目の中で、さまざまな学びをして進路実現を目指してください。一生に一度の高校生活、豊総で思いっきり楽しんでください。

部活動と授業で
体力養成

西宮市消防
総合学科 杉島 将太

私は一年前の正月に起きた能登半島地震をきっかけに消防士になると決意しました。

試験科目の教養試験・作文・面接の対策では、問題集を繰り返し解いたり、YouTubeを活用しました。空き時間も使って、平均平日3時間、休日6時間勉強しました。体力テストに対しては、走りこみをしたり、テスト項目に取り組みましたが、バレーボール部の練習や必須科目の体育に加え、2年次「スポーツⅠ」、3年次「スポーツⅡ」を選択して体力をつけていたので、運動能力や体力には自信がありました。

豊総には色々な個性の先生がいるので、面接練習では色々な対応の仕方を身に付けられました。また、部活動ではキャプテン、生徒会執行部では副会長を務めるなど、主体的に行動したことで人前に立つ苦手意識を克服することができたと思います。



工業科

電気系を
さらに深める

トヨタの
一員に

大阪工業大学 工学部 電気電子システム
工学科 〈総合型選抜〉

電機応用工学科 古田 蒼空

私が電機応用工学科に入学したのは、電気工士をしている祖父の働く姿がかっこよくて、自分もそうなりたと思ったからです。

電気系の専門科目は難しかったですが、今より深く学びたいと思い、大学進学を決めました。大阪工業大学は就職率が全国3位、関西私大1位で、就職にとても強いことから志望しました。

推薦入試の一次試験には自己PRのプレゼンテーションがあり、電気研究部でのソーラーラジオコンカーコンテスト出場経験や、原子力発電とその運営の仕組みを調べて、大学での授業も交えながら発表しました。電機応用工学科での成果を発表に役立てることが出来たと思います。

電機応用工学科は、男子が多く普段は騒がしくしていますが、学校祭などのイベントには全力で臨み、資格への取り組みなど切り替えもしっかり出来る学科です。男女問わずぜひ電機に入学してください。



トヨタ神戸自動車学校 高度自動車科
電機応用工学科 安田 朔

幼い頃から機械に興味があり、専門的な知識が得られるところにも魅力を感じ電機応用工学科へ。「原動機」という授業の中で自動車エンジンの仕組みを学ぶ機会があり、とても興味を持ちました。そして将来の仕事として考えるようになり、世界最大の自動車メーカーであるトヨタで働くため、専門学校への進学を決めました。

電機応用工学科では自分が想像していたよりもっと深く広い知識を得ることができました。専門学校で使う知識を、高校で学べたのは大きかったですし、面接でもアピールして合格につながったと思います。



また科内で「資格を多く取ろう」という流れがあり、先生方がしっかりと資格取得のサポートをしてくださったことがとても有難かったです。

将来は設計士に

京都美術工芸大学 建築学部建築学科
〈指定校推薦〉

環境建設工学科 木瀬 瑛介

建築に興味があり環境建設工学科に入りました。最初の頃は強くしたいことはなかったですが、様々学んでいくにつれ、すごく興味を持てる科目が出てきました。それは「製図」です。時間がかかり面倒くさいと思うこともありましたが、完成した時の達成感はその

当に気持ちよく、そこから私は設計士になろうと思いました。

この大学は二級建築士が取得可能で、学部や学科の枠を越えて学べるところ、卒業後にはすぐ一級建築士の資格取得ができるところに魅力を感じ志望しました。

私は2年生で勉強をなまけてしまつて、指定校推薦で受験できるギリギリの成績だったので、1年生の時から勉強はすごく大切です。また勉強と同じくらい部活動や委員会活動も大切で、そこで頑張ったことは面接のときに強い武器になります。

環建へ！

兵庫県 総合土木職
環境建設工学科 高階 彩羽



1年生の秋、土木か建築かの類型を決めるときに、将来自分がどんな仕事をしたいのかたくさん考え、先生方に相談したところ公務員を勧められて目指すようになりました。

生徒会執行部に入っていたこと、ソフト二ノ部のキャプテンを務めていたことは良かったと思えました。兵庫県が求める職員像に、庁内外と協力してチーム力を最大化する、という方針があります。言い換えると協調性のある人物が求められているので、自己PRカードや面接の時に、協調性をアピールするための例として生徒会執行部やキャプテンの経験を活かすことができました。

最後に、環境建設工学科は、先生が優しく、実習が充実していて、たくさん現場見学にも

行けます。3年間でクラスの絆が深まり、すごく楽しいところでした。中学生のみなさん、環建に入学してきてください！

土木の仕事に関わりたい

兵庫県 総合土木職
環境建設工学科 今井 勇磨

私は将来土木の仕事に就きたいと思いい、そのための知識や技術を学ぶため環境建設工学科に入学しました。インターシップや現場見学など職業体験をする中で、高速道路などのインフラ整備をしたいという決意が固まりました。それに関われるのは兵庫県庁の総合土木職であると知り、志望するに至りました。

1年生の時はまだ仕事について漠然としていたので勉強が手につかないままでしたが、2年生で専門科目を学ぶようになって心機一転、目標もできたことから、毎日コツコツ予習復習を欠かさず行うようになりました。分からないことや悩んだことは、そのまませず、理解したあとの応用学習も頑張りました。後輩の皆さんに伝えたいことは受験への早め早めの行動です。私のようにギリギリで焦ることのないようにしてください！ また、社会に出たら人と話せる能力がとても大事になってくるので、高校でもたくさんの人と話すことを意識してください。

環境建設工学科で学んで良かったことは、やはり土木の専門科目です。特に「土木構造設計」が好きで頑張りました。この科目では、橋などの構造物の重さや力の計算方法、構造物がどのように作用するかなど、就職後にも必要な知識を学べたからです。